

2020年度（令和2年度）事業報告書

2020年（令和2年）4月1日から2021年（令和3年）3月31日まで

特定非営利活動法人大学経営協会

1. 事業の成果

(1) 本協会の活性化を図るための施策

今年度はコロナ禍において、どのような活動が出来るか随時検討を行い、具体的には、オンラインを主体とした活動方法をはじめ、総会記念講演会の講演内容、秋の拡大委員会および新春講演会のテーマ・講演者等について検討しました。

(2) 会員の状況

今年度はコロナ禍に於いて対面による講演会等は一切出来ず、新規団体会員の勧誘活動はままならない状況のため新規勧誘の実績はありませんでした。コロナ禍による経済的事情により1社退会、個人会員も8名の退会がありました。

(3) ガバナンス委員会の活動

今年度のガバナンス委員会は「教員評価と処遇への反映」について審議のまとめを発表し、先進的な取り組み事例として、国立大学1校（金沢大学）、私立大学2校（東京理科大学、上智大学）をお招きしオンラインセミナーを2回開催し、当日視聴出来なかった方には、後日期間限定によるYoutube配信を行いました。

また、学校法人のガバナンス改革に関する提言を審議し、その審議を踏まえ北城格太郎副理事長が委員として参加する文部科学省の「学校法人のガバナンスに関する有識者会議」において発言をしました。

(4) 財務委員会

国際競争力の確立と強化を目指すことを念頭に置き、私立大学を支える財務基盤を充実するための方策について検討をすすめ、先ず米国・英国の大学の事例をメルクマールとして、学費と奨学金の在り方、資金調達の在り方、産業界との連携など多岐にわたり調査を行い、審議のまとめ案を作成したところであり、また、今年度は2年毎に実施している資産運用調査を実施する年度に当たるため9月に調査を実施し、3月に調査報告書を作成送付しました。

(5) 100年委員会

高等教育セクターは量的にも質的にも大きなリソースを有している中、人生100年時代を迎え、経営戦略をどう考えるべきか、大学での学びはどうあるべきか、リカレント教育をどう展開すべきかなど、様々な構想やアイデアを検討するため協議を進めて来ました。委員から順次今後の高等教育について考えるところを発表頂いたあと、審議のテーマを絞り込んで協議を進めております。

(6) 2020年7月講演会、および2021年新春講演会を開催

例年、総会後に実施していた講演会は対面での開催は困難であったため、7月にYoutube配信により聖心女子学院常務理事 日比谷潤子氏より「教学マネジメント指針の目指すもの」についてご講演をいただきました。

また、新春には文部科学省 伯井美徳高等教育局長より「高等教育政策と当面の課題について」オンラインによりご講演をいただき、当日視聴出来なかった方には期間限定によるYoutube配信を行いました。

(7) 「情報の発信」

情報が古くなっていたホームページを見直し、更新・改訂しました。また会員に対する情報提供の一環として、ニュースレターの発行を継続しており、月に1度の発行を目指しNo14～No25まで発行しました。

2. 事業の実施に関する事項

(特定非営利活動に係る事業)

事業名	内容	実施日等	実施場所	従業者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
情報収集・普及事業	ホームページによる広報、資料の購入・配布	随時	法人の事務所	3名	会員及び高等教育に関心を持つ一般市民、団体・企業	1,012
	オンライン講演会・オンラインセミナー開催	2回	日本プレスセンタービル他	241名	会員及び高等教育に関心を持つ大学・企業	
大学等経営改善支援事業	ガバナンス委員会	5回	日本プレスセンタービル他一部オンライン	122名	大学関係者及び当協会会員	512
	財務委員会	3回	日本プレスセンタービル他一部オンライン	39名	大学関係者及び当協会会員	
	大学の資産運用状況に関する調査	2020年9月～2021年3月	全国国立私立大学法人	623法人	大学関係者及び当協会会員	
	上記調査の回収及び集計結果報告の作成・送付			228法人		
100年委員会	4回	日本プレスセンタービル他一部オンライン	68名	大学関係者及び当協会会員		
合 計						1,524